

ワシントン国際問題研究所(Japan International Transport Institute, USA, JITI)と米国公共交通協会(American Public Transportation Association, APTA)との共催セッション「沿線開発による収益機会の創造」

JITI において、APTA の鉄道総会の機会を捉えて、下記のとおり APTA との共催セッションを開催いたします。

#### 記

1. 日時 2019年6月25日(火) 8:30-10:00 am
2. 場所 シェラトンセンタートロント, オンタリオ州トロント(カナダ)
3. テーマ 沿線開発による収益機会の創造 (Revenue Opportunities from Value Capture)
4. 挨拶 APTA 会長 ポール・スコウテラス  
JITI/運輸総合研究所会長 宿利正史 (ビデオ・メッセージ)
5. 来賓挨拶 連邦公共交通局長代行 ジェーン・ウィリアムズ氏  
在トロント日本国総領事 伊藤恭子氏
6. 講演:



東日本旅客鉄道株式会社  
事業創造本部品川まちづくり部門  
品川都市計画グループ  
リーダー 村上祐二氏



東京急行電鉄株式会社  
都市経営戦略室  
戦略企画グループ  
課長 山口堪太郎氏

7. パネルディスカッション:  
モデレーター: APTA サーシャ・ペイジ氏  
パネリスト: 講師の村上氏、山口氏に加え、  
・バンクーバー都市圏交通局 (Translink) CEO ケビン・デズモンド氏  
・デンバー地域交通局 (RTD) CFO ヘザー・マクキロップ氏
8. 質疑応答

**【趣旨】**

マイカー社会の北米においても、近年、公共交通志向型都市開発(Transit-Oriented Development, TOD)が盛んであり、その際に開発利益が公共交通の整備・運営の財源として用いられることが多い(Value Capture)。

本セッションは、去年の運輸総合研究所/JITI の宿利会長と APTA のスコウテラス会長の合意に基づく連携事業として、初めて行うものであり、テーマと講師は、日本の都市鉄道整備と沿線開発に関する優れた経験に関心を寄せる APTA 側の意向に基づくものである。

※ 日英の同時通訳がつきます。また、本セッションは JITI の HP で動画公開予定です。

※ 問い合わせ先；JITI 宮本大輔 [miyamoto@jitiusa.org](mailto:miyamoto@jitiusa.org)

※ 詳細（英語）；<https://www.japantransport.com/2019-apta-jiti-session-rail-confere>

以上